

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年2月24日
札幌市立青葉中学校

1 本年度の重点目標

- ・【知】自らすすんで学びに向かい、自分の考えを表現できる子どもの育成
- ・【徳】人とかかわりの中で自他を愛し、思いやりあふれる子どもの育成
- ・【体】命を大切に、自らたくましい心身を鍛えようとする子どもの育成

2 学校経営の重点

- ・失敗を恐れずに、安心して様々なことに挑戦できる環境づくり
- ・自己を肯定し、多様な価値観を理解し認め合う環境づくり
- ・「教師が教える」授業から、「生徒が自ら主体的に学ぶ」授業へ

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の適切さ
重点目標	【知】自らすすんで学びに向かい、自分の考えを表現できる子どもの育成を行うことができたか。	A	・次年度も、生徒自身が意欲的に授業に参加し、自分の考えを表現できるよう、学びの保障を継続させる。	A	A
	【徳】人とかかわりの中で自他を愛し、思いやりあふれる子どもの育成を行うことができたか。	A	・日々の学年・学級の活動や旅行の行事等の学校行事で様々な取組を通して、仲間とかかわりの中から自己が成長できるような環境を整えられるよう工夫する。	A	A
	【体】命を大切に、自らたくましい心身を鍛えようとする子どもの育成を行うことができたか。	A	・道徳科での授業や日々のかかわりを通して、命の大切さを考える機会を設けることができた。また、教育相談や期末懇談、アンケートなど、常に、生徒や保護者に学校全体で寄り添う取組を継続させる。	B	B
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の生徒の表情、特に挨拶から充実した学校生活を送っていることが感じ取れた。 ・学校外から、なかなか学校内の様子を知ることができない状況であるので改善が必要である。 				
学習・研修	課題探究的な学習の充実により、「生徒が自ら主体的に学ぶ力」を身に付けるよう、授業を工夫することができたか。	A	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、課題探究的な学習の推進を行ってきた。また、教職員に対する校内研修や校外研修等を通して学びを深め、AARサイクルを基に、授業づくりへの探究を深めていく。	A	A
	生徒一人一人が生き方や将来について考え、必要な資質や能力を身に付けられるよう、必要な取組を行うことができたか。	A	・3年間を通じた進路学習の系統的な取組を継続し、キャリアサポートを活用しながら、生徒が将来について考えていけるよう工夫をしていく。	A	A
	教員一人一人が主体的に研修に取り組み、職責や経験に応じて資質・能力の更なる向上に努めることができたか。	A	・評価評定の方法や生徒指導など、教職員が主体的に研修に取り組むことができた。次年度も校内外の研修で新しい情報を入手し、資質・能力の向上に努めていく。	B	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探究的な授業づくりについては、小学校も一緒に学ばせていただきたい。 ・教職員の研修への取組については、教職員全員が肯定的な評価になるよう改善が必要である。 				
生徒指導	道徳をはじめ、教育活動全体を通して、生徒にいじめ防止に関する心情を育てることができたか。	A	・いじめ防止に関する道徳(望ましいネット利用)を自発的活動として実施する。 ・生徒との対話を大切にしながら、日頃の観察を行い、必ず情報共有を行う。 ・毎月開催の「いじめ防止対策定例会」で各学年の実態を把握し、対策を検討する。	A	A
	生徒が教職員(スクールカウンセラー等を含む)に安心して相談しやすい体制や安全な環境を整えることができたか。	A	・年間2回の学級全生徒に対する教育相談、スクールカウンセラーと1学年全生徒との面談は来年度も取組を継続する。安心して相談ができるよう、生徒や保護者が相談しやすい環境整備に努める。	A	A
	様々な問題行動防止のため、早期発見・早期指導を心がけ、組織的に行動することができたか。	A	・生徒の観察、教職員間の情報共有を徹底し、早期発見、早期指導を継続して努める。また、重大な事故、事件に関しては、特別委員会を開催し対応する。	A	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今いじめの実態が問題になっているが、青葉中学校では皆無であることを願いたい。 ・スクールカウンセラーの活用については、充実されていてよい。 				
生徒会	学校行事を通して、生徒が満足感や達成感を得ることができるよう、工夫・改善を行うことができたか。	A	・陸上競技大会や学校祭、合唱コンクール等の学校行事を通して、生徒がそれぞれの個性を生かしながら、仲間とともに協力して取り組むことができた。	A	A
	生徒会活動を通して、生徒が自ら考えて判断し、行動する力を育てることができたか。	A	・各行事の準備活動や生徒総会開催に向けて、主体的に取り組む機会を設けることができたが、自治的な取組のより一層の充実を目指して計画していく。	B	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や生徒会活動など、一人一人が満足する場面を大切にしてほしい。 ・義務教育学校開校に向けて、生徒の自治的な取組のより一層の充実を目指してほしい。 				
庶務・その他	学校の施設・設備の保全及び整備に努め、充実した教育環境を整えることができたか。	B	・施設・設備は、漏水等老朽化しているところが目立つが、生徒・教職員と協力しながら破損箇所等を修繕し、学校施設を大切に使用できるよう心掛けていく。	B	A
	保護者や地域への情報発信を丁寧に行い、保護者・地域の不安や悩みにしっかりと寄り添うことができたか。	A	・アプリ「すくーる」を使い、家庭への情報発信を丁寧に行うことができた。また、期末懇談や授業公開、フリー参観日など、保護者の方々が学校に来ていただく機会を計画、実施した。	A	A
	「小中一貫した教育」の推進を図り、小学校と連携して本校の教育活動を計画・推進することができたか。	A	・年3回の小中合同での研修会で、授業交流などで教職員同士の連携・交流をすることができた。次年度も、小中一貫した教育の推進のために取組を継続する。	A	A
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も「小中一貫した教育」の充実を努め、連携に力を入れていただきたい。 ・公開授業やフリー参観日など、地域の方々が学校の様子を見ることができるとよりよい。 				